

いちご農家の減少ストップへ！

「いちご塾」研修生の「紅ほっぺ」出荷スタート！

取材対応：12月23日(月)AM8:30～



「いちご新規就農サポートハウス」のイチゴ「紅ほっぺ」の出荷が12月から始まっています。「いちご新規就農サポートハウス」は、愛知県でトップクラスのイチゴ産地であるJAあいち三河（岡崎市、幸田町）と行政が協力し、今年3月に新設したハウスで、同ハウスでは現在、「いちご塾」第6期研修生3名がイチゴの栽培を行っています。

研修生は入塾後、受け入れ農家先で研修を重ね、10月にサポートハウス（栽培面積：37アール）に2万4千本の苗を植えました。日々の管理や収穫、パック詰めなど様々な作業をこなし、独立に向けて励んでいます。

「いちご塾」概要

当JAでは生産者の高齢化等の理由から産地活性化やブランド力維持を図るため2018年に「いちご産地活性化プロジェクトチーム」を発足。2019年4月から「いちご塾」を開講し、これまでに15名の卒業生を輩出している。現在は、部会員全体の約2割を新規就農者が占めている。部会の平均反収(※)を超える卒業生もおり、今後の活躍が期待されている。

※反収：栽培面積あたりの収穫量



▲研修生による苗を植える作業（R6.10月撮影）

取材対応

内 容：研修生による収穫作業

日 時：12月23日(月) 8:30～

集合場所：いちご新規就農サポートハウス

(岡崎市坂左右町字堰守 55.56.57-1.57-2)

※車でお越しの際は当JA本店の駐車場をご利用ください。

※ハウス内のため雨天決行です。



<お問い合わせ> ※取材にお越しいただける際は、事前にご連絡ください。

JAあいち三河 総合企画部 企画広報課 (担当：岡田)

TEL：0564-55-3034 FAX：0564-55-2950 E-mail：kouhou@ja-aichimikawa.or.jp

※この情報は、JAグループ愛知記者会、岡崎市政記者クラブにおいてプレスリリースしています。